

かつどうめい
活動名

こ え だ き み
小枝と木の実のクラフト

かつどう とくちょう
<活動の特長>

- ・ 若あゆ周辺を歩き、材料を探することで、枝の様子や木が実をつけている姿など、季節を肌で感じ、作品のイメージを自然からもらうことができます。
- ・ 材料の特徴を生かしながら、思いを形にしていくうちに、どんどん物語が膨らみます。活動後は、今まで気付かなかった自然の姿に気付くことができます。



れい
<めあての例>

- ・ 自然
「自然の特徴を生かして作品をつくろう」
- ・ ものづくり
「材料からイメージを膨らませて形にしよう」

おお かつどう なか
<大まかな活動の流れ>

- ①めあての確認をしよう
- ②材料を探しに行こう



この葉っぱ、何かに見えるな。

- ③木の実や枝からイメージを膨らませよう

この組み合わせ、お花みたいに見えてきたよ！



- ④思いを形にしてみよう

(つける・結ぶ・切る・穴をあけるなど)



枝を切ってつけたら、森の中のイメージに近づいたぞ！

- ⑤鑑賞会をしよう

この組み合わせは考えつかなかったな。今度やってみたいな。



- ⑥まとめ・振り返りをしよう



つくっていくうちに、どんどんイメージが膨らんでわくわくしました。

次へのステップ

<メモ>

- ・ あらかじめ採取した物を使って活動することができます。
- ・ 作品を持ち帰る際、壊れないように注意しましょう。

校庭や通学路、家の庭に果物の種など材料になりそうなものがないか探し、どのようになるか想像してみよう。